

宮城山岳通信 第26号

目次

巻頭言	支部長 2 頁
宮城支部令和4年度通常総会	事務局 2 頁
定例役員会報告	事務局 3~4 頁
山行集会委員会報告	事務局 4 頁
全国山岳古道調査特別委員会 (第2回委員会)	事務局 4 頁
宮城支部山行報告	
☆春山山行 (虎捕山) (共益事業)	千石信夫 5 頁
☆親子登山教室 (深山) (公益事業)	千石信夫 5~7 頁
支部以外の関係行事参加報告	事務局 7 頁
(2021年度 第2回・第3回支部連絡会議)	
令和4年7月~11月の行事予定	事務局 7 頁
編集後記	会報・編集出版委員長 7 頁

巻 頭 言

支部長 千石 信夫

世界的に暗い話題が多い。新型コロナ感染などもあるが、特に私は毎年のように発生する自然災害が気になっている。地球は温暖化した影響により、雨の降り方、風の強さなど、以前の天候とは明らかに変化しているのを肌で感じているのは私だけではないと思う。化石燃料を使い続けた結果だとすれば自然災害ではなく、人間災害というべきだろう。まして愚かな戦争などをやっている場合ではない。あれほど環境を破壊し、そして殺し合うことに何の正義があるのか空しく、人間の愚かさを改めて思う。

この環境の変化には、我々がフィールドワークとしている山岳地域も他人ごとではない。豪雨による増水、崖崩れ、強風による影響など、想定される最悪の状況というものをランクアップして考えていかなければならないと思っている。

日本山岳会には自然保護委員会が設置されており、全国的に様々な自然保護活動がなされております。宮城支部では、以前には船形山でのブナ林の伐採についての問題や、宮城蔵王において雪上車走行による被害等を問題提起してきた経緯がある。最近では東日本大震災後の山岳地域における放射線の線量調査を行ってきた。近頃、新聞等で取り上げられている川崎町での風力発電事業が話題となり問題になっている。この地域だけでなく県内各地において調査が行われている。我々岳人の立場としては、蔵王連峰の稜線上からの景観だけにとどまらず、この発電設備を想像すると動植物への影響、そして周辺からの景観が大きく損なわれるだろうと思う。特にこの周辺地域は観光事業と密接にかかわるので、その影

響も踏まえれば再検討を促したい。持続可能なエネルギー確保とは裏腹に、実に悩ましいことではある。

話題は変わりますが、宮城支部の活動については、感染状況も減少傾向となり、注意は怠らず通常の状態に戻したいと思っています。120周年記念事業の古道調査については、昨年少下調べなど行い、各自治体や地元の団体にも協力の要請をしてみました。今年は本格的に現地調査に入っていく事になっております。もし私も調査活動に参加したいという方がいらっしゃれば、手を上げていただきたいと思います。通常の山行行事もできる限り実施していきたいと考えておりますので、再び皆さまと山でお会いできることを楽しみにしております。

【宮城支部令和4年度通常総会】

例年4月に開催していた通常総会は、新型コロナウイルスによる感染者が高止まりの状況下、収束の見通しが見つからないため書面による開催となりました。

議案書を32名の会員に送付、6月10日まで賛否の返信ハガキを受付けました。その結果、21名より表決提出があり、2分の1(16名)を超えましたので総会は成立しました。

議案に対する表決は、第1号議案：令和3年度事業報告＝賛成20名、承認1名、第2号議案：令和3年度収支決算報告・監査報告(会計監査の横山哲、草野洋一の押印)＝賛成20名、承認1名、第3号議案：令和4年度事業計画＝賛成21名、第4号議案：令和4年度収支予算書＝賛成20名、無効1名と、規約12条の規定に基づき過半数以上の賛成(承認)で議案はすべて可決されました。

(支部長 千石信夫)

【役員会議事録】

■令和4年2月16日(水) 定例役員会は、オミクロン株によるコロナ感染拡大のため、メールで開催(8名)。

■令和4年3月定例役員会

日時: 3月16日(水) 18:00~

場所: 仙台市シルバーセンター5F会議室

出席者: 千石支部長、千葉、横山、草野、佐藤、中里、鳥山 計7名

《報告事項》

イ 総務・財務委員会からの報告

①1月20日に開催された令和3年度第3回の支部連絡会議の報告

②蔵王古道調査の件で2月24日に蔵王町役場挨拶の報告。蔵王町から協力の話と「蔵王古道の会」の高野泰次会長に情報提供を依頼。

《総会に向けての資料作成案について》

①令和3年度事業報告(案)

②令和4年度事業計画(案)

③本部への報告済み事項

ロ 山行集会委員会からの報告

①早春山行について

令和4年度キックオフ山行は福島にある虎捕山に決定

《その他》

山形支部より、オンラインによる支部役員懇談会や古道調査の交流会を持ちたいと申し入れがあった。

■令和4年5月18日(水)5月定例役員会は、急きょ山岳古道調査の第2回委員会に変更した(次頁参照)。

■令和4年6月定例役員会

日時: 6月15日(水) 18:00~

場所: 仙台市シルバーセンター5F会議室

出席者: 千石支部長、冨塚、千葉、柴崎、高

橋、草野、佐藤、横山、鳥山 計9名

《報告事項》

イ 総務・財務委員会からの報告

・令和4年度支部総会の書面表決結果

・本部からアンケート調査の依頼について

・『山岳』第117に掲載する「支部活動報告」

・自然保護助成金の案内

・「万人の山と自然 安全登山ハンドブック2022」の配布について

ロ 山行集会委員会からの報告

①第10回親子登山教室の実施結果について
(「支部山行報告」参照)

②露払い山行(6月)の実施計画について
二口街道(二口峠)の古道調査に変更

③第9回登山教室(7月)実施計画について
7月10日(土)に刈田峠から屏風岳(草野)

④山行集会委員会の開催報告(4頁参照)

12月の初冬山行「七ツ森七葉師掛け」は季節とコースを考慮し再検討する

ハ 会報・編集出版委員会からの報告

「宮城山岳」に載せる紀行・随筆の原稿を待って7月下旬から8月上旬発行予定。「宮城山岳通信」は並行しながら編集作業の準備

ニ 他委員会からの報告

自然保護・科学委員会より、蔵王国定公園周辺(川崎町)で計画されている風力発電建設による環境影響や景観破壊について(柴崎)

ホ 山岳古道調査特別委員会からの報告

①全国山岳古道120選の選定について

5月17日に本部と古道オンライン会議が開かれ、120の調査対象古道が決定。宮城支部関係は5古道となった。

②第2回山岳古道調査特別委員会の報告

(4頁の「第2回委員会」参照)

この役員会の途中、午後7時から山形支部とオンライン会議を約30分ほど開いた。山形支部から鈴木理夫支部長が参加、古道調査の

現状を両支部で情報交換した。その中で7月16日(土)に古道調査も兼ねて交流登山を蔵王山系で実施することになった。今後とも両支部の交流促進を図っていくことを確認し、オンライン会議を終了した。

【山行集会委員会】

日 時：4月27日(水) 18:00～

場 所：仙台市シルバーセンター5F会議室

参加者：千石支部長、太田、草野、横山、加藤 計5名

○令和4年度の山行計画について討議

○公益事業

*親子登山について：企画について集会委員会の協力を要請

*公募登山について：7月の企画は刈田峠から屏風岳とする。企画は草野委員

○その他：*山行計画書について *参加費については担当者が集金し、会計に渡すことにする *山行担当者はリーダーを務める

【全国山岳古道調査特別委員会】

■第2回委員会

日 時：5月18日(水) 18:00～

場 所：仙台市シルバーセンター5F会議室

出席者：千石支部長、冨塚、草野、加藤、遠藤、佐藤、鳥山 計7名

(1) これまでの経緯

- ・令和3年11月4日 第1回委員会を開催
- ・令和4年5月17日 本部との古道オンライン会議で、「日本の山岳古道120選」が決定
- ・宮城支部分は5古道

(2) 「日本の山岳古道120選」の宮城支部分

- ①栗駒古道(世界谷地駐車場～クロベ巨木の森～湯浜温泉)
- ②出羽仙台街道(尿前の関～中山峠～山刀伐峠越え)・・・本部推薦

③関山街道(嶺渡古道)

④二口街道(二口峠・秋保街道)

⑤蔵王山の信仰の道(蔵王古道御山詣りコースなど)

(3) 宮城支部の進め方

ア 調査対象古道の進捗状況

①郷土史家、栗原市(栗駒ジオパーク)に説明・協力依頼。世界谷地～クロベの森間は踏査

②鳴子支所に説明・協力依頼。踏査はまだ

③「関山街道フォーラム」の平川会長に説明・協力依頼。テンプレート作成でフォーラムの協力が得られる見込み。踏査は複数回

④秋保支所、地元団体に説明・協力依頼。踏査は複数回

⑤役場、教育委員会、「蔵王古道の会」に説明・協力依頼。テンプレートについて「蔵王古道の会」から送信あり。役場からは6月末までに作成し送る旨の連絡あり

イ 調査スケジュール

*踏査 6月＝二口街道、7月＝栗駒古道(7月23日～24日)、8月＝蔵王古道、9月＝出羽仙台街道、随時＝関山街道

*テンプレート作成：各古道担当チーフを中心に年末まで随時作成、年度末までに成案作成

*GPS地図作成(メイン古道のみでサブ古道は必要なし)：少なくとも「YAMAP」と「ジオグラフィカ」2機のスマホでデータを取る。また千石支部長を講師にスマホ操作の講習を実施する

【宮城支部山行報告】

■2月27日(日)に予定した「厳冬期山行(立石沢源頭部)」はコロナ感染拡大で中止。また3月27日(土)予定していた「早春山行(七ッ森)」は3月16日に起きた福島県沖地震で

中止した。

春山山行

報告者 千石信夫

実施日 令和4年4月17日(日)

山名 虎捕山(標高705.3m)

福島県相馬郡飯館村佐須字虎捕

コース 山津見神社駐車場(10時10分)→
[約480m]→手水舎(10時40分)→[約260
m]→金華山(10時55分)→[約200m]→虎
捕山頂上(三等三角点:11時10分~30分)
→金華山(11時45分)→手水舎(12時00
分)→山津見神社駐車場(12時20分)~昼
食~現地解散

参加者 会員=高橋二義、鳥田笑美、草野洋
一、千石信夫、佐藤昭次郎、千葉正道、中里
政信、支部友=村上敏郎、佐藤富士子、多田
孝徳、鳥田伊志、ゲスト=能勢真人、千石裕
子 以上13名

虎捕山の麓にある山津見神社の駐車場に
10時集合、いつものように皆さん早目に集合
するのが通例だが、今回は集合場所を間違え
た人もあって若干集合が遅れた。

駐車場はかなり広く、参拝者が多い神社な
のだろう。調べてみると、全国的にも珍しい
狼信仰の神社で、神社の前には狼の像が鎮座
している。神社内の天井には美しい狼の絵が
見られる。虎捕山の山名には古い伝説が残さ
れている。平安時代に遡り、この地に橘墨虎
という凶賊がいて、民家を襲い財物を強奪し
住民から恐れられていた。奥境鎮守のため下
向していた源頼義公は、部下に命じ墨虎を捕
らえたということから虎捕山と呼ばれたそう
だ。

当日は天気も良く、駐車場では登山客がた
くさん登山準備をして賑わっていた。今回の

山行担当は久々の中里会員が、寅年に因んだ
珍しい山を紹介してくれた。そしてまた、昼
食を用意するという最近では珍しい企画であ
った。

予定通り山津見神社駐車場を出発、神社に
参拝し神社の右側を回り登山口となる。イノ
シシ対策なのか、金網のフェンスが廻らされ
て、その入り口から入山となった。しばらく
歩くと手水舎に着く。それを過ぎると、花崗
岩の大きな岩がゴロゴロしたところに鉄梯子
があり、予想外に注意を要する登りとなった。
梯子を超えると奥の院にたどり着く。その上
にある岩場の上に立つと、眺望がすばらしい。
西は吾妻方面の連山、北は霊山、東は太平洋、
南は阿武隈山地の山並みが望めた。そこから
山頂までの道は歩きやすい山道となり、山頂
に到着。山頂は雑木林の中で眺望はよくない。
一服して下山する。



駐車場では昼食が準備され、これまた珍し
いホッキ飯が出された。皆、ビックリ! そ
してカレーうどん、スイーツまで出るフルコ
ースとなった。お陰さまで思いがけない楽し
い“お花見”山行となった。

〈公益事業〉 第10回親子登山教室

報告者 千石信夫

実施日 令和4年6月4日(土)

山名 亘理郡山元町 深山(287m)

コース 登り：深山少年の森・駐車場～駒返しコース～深山、下り：山頂～たかうちコース～深山少年の森・駐車場

参加者 会員＝千石信夫（リーダー）、冨塚和衛、草野洋一、鳥田笑美、横山哲、千葉正道、佐藤昭次郎、太田正、支部友＝鳥田伊志
公募参加者＝小野木弘志（親）、小野木晴馬（小学2年生） 以上11名

今回はコロナの感染の影響もあり、仙台からの参加者1家族2名となった。予定通り深山山麓少年の森駐車場に集合した。宮城支部からはサポートメンバーの集会委員会、女性委員会、そして支部友会員も参加となった。千石支部長から主催者挨拶、参加者の紹介、そして登山コースの概要や1日の行動予定、注意点などを説明した。そのあと準備体操など体を整え出発した。

深山神社に参拝し、駒返しコースの登山コースに入る。天候は前日まで雨だったが、当日は好天に恵まれ快適な行動ができた。参加された親子は、登山経験はないとのことなので、時間は気にせずゆっくり歩くこと、また小まめに休憩をとるように心がけた。

中腹あたりではスズメバチが飛んでいて、小学生の参加者は大変怖かったとの感想を日記に書いたそうです。スズメバチ注意の看板が数ヶ所設置されているが、スズメバチの活動期は特に7月から秋にかけて活発になるので、秋の親子登山には、特に注意が必要となる。春の開催時期については、もう少し花などが咲いている時期を選ぶようにすれば、植物などにも興味を持ってくれるようになるのかと感じた。

小学2年生の男子は体力的には問題なく元気に歩いてくれた。山頂では大きな声で雄叫びを上げて喜んでいたことが印象的だった。

山頂からは、東は太平洋、西は蔵王連峰、遠くは吾妻方面も眺められた。山頂からは鷹討ちコースを下山し、無事麓の駐車場に到着。記念撮影し、場所を移動した。



山元町鷺足地区にある千石宅にて昼食をとった。女性委員会の鳥田笑美さんは、深山には登らず、特製の豚汁を調理していただいた。全員がお代わりするほど美味しかった。太田会員からは自家栽培のソラマメの差し入れがあり、早速炭火で焼いたり楽しい昼食となった。

昼食後には参加者の親子に、山の道具を展示し、使い方などを説明した。展示品には、ワカンジキ（高橋功さんが所有していた桧枝岐の古いワカンなども展示）、ピッケル（グリベル2本、シャルレスーパーコンタ、シモンなど）、雪山用スコップ、ハンマー、ハーケン（古いもの）、アイゼン（門田の古いアイゼンと新しいCampのアイゼン）など、山で使用する道具を展示し、その使い方の説明を行った。親子で興味を持って展示品を手にしたたり、触れたり体感し学んでもらうことができた。そのほかにはロープの結び方を一つでもマスターしてもらうように、8の字結びを体験してもらった。参加者のお父さんは頭を捻りながら何とかマスターされたようだ。参考までにクローブヒッチ、ムンターヒッチも紹介した。

講習会の最後に、小野木晴馬君に深山登頂

証明書を授与し、最後まで諦めずに歩きとおしたことを称えた。

講習会での展示品は、若干骨董的な古いものもあったが、厳しい山で登るためには、いろいろな道具や装備が必要なことを学んでもらうことができたと感じている。ご協力いただいた皆さんに感謝し、親子登山の報告いたします。(集会委員会・親子登山企画)

【支部以外の関係行事参加報告】

2021年度 第2回支部連絡会議

報告者 千石信夫

令和3年9月25日(土)、本部主催の第2回支部連絡会議がオンライン(ZOOM)で開催された。

古野淳会長の挨拶の後、群馬支部(会員増)と越後支部(会員減)からそれぞれ活動事例の報告があった。会務報告として坂井広志副会長より「特別事業補助金」の説明、プロジェクトチーム近藤雅幸氏より120周年記念事業・古道調査本部の進捗状況と今後の予定が報告された。この後、公益社団法人としての支部活動、「山の日」事業委員会と2021年ウェストン祭からの報告があった。

2021年度 第3回支部連絡会議

報告者 千石信夫

令和4年1月20日(木)第3回の会議がオンライン(ZOOM)で開かれた。

古野会長よりコロナ感染第6波が拡大、感染防止に留意した活動に努めてほしい、また冬山遭難が多発している、準備を周到に慎重な行動をと挨拶。松田理事より「支部の5年後」アンケート集計で、支部で出来る事、周辺支部と一緒に出来る事、本部にしたい事などについて報告があった。

古道調査の近藤リーダーからは120選の選

定作業中で、2月中に決定予定と報告。その中で宮城支部関連で、「出羽・仙台街道」(奥の細道、尿前の関~封人の家~刀山峠)が追加された。

【今後の行事予定】

☆7月14日(木)

定例役員会(仙台シルバーセンター)

☆7月16日(土)

山形支部と交流登山(蔵王山系)

☆8月11日(木・祝日)~14日(日)

夏山山行(山の日 記念事業)

☆9月15日(木)

定例役員会(仙台シルバーセンター)

☆9月19日(月・祝日)

初秋山行(虎毛山)

☆10月16日(日)

第11回親子登山教室

☆10月19日(水)

定例役員会(仙台シルバーセンター)

☆11月6日(日)

第10回登山教室

☆11月16日(水)

定例役員会(仙台シルバーセンター)

【編集後記】

最近、新型コロナウイルスの感染が減少傾向となっています。「宮城山岳通信」は、コロナ禍の影響もあり、と言うより編集者の怠慢で5ヶ月ぶりの発行となり、誠に申し訳ありません。

今後はタイムリーな発行と紙面の充実に務めて参ります。是非、「宮城山岳通信」への投稿もお待ちしております。引き続き会員及び支部友の皆様のご協力、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

会報・編集出版委員長 鳥山文蔵

宮城山岳通信 第26号

発行 公益社団法人日本山岳会 宮城支部

発行日 2022年7月2日

発行人 千石信夫

会報・編集出版委員会 鳥山文蔵、千石信夫、冨塚和衛、細川光一、三宅 泰

事務局 〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字畑中9-12（冨塚宅）